

敬老の日 新百歳慶祝訪問

「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」。9月16日、中山市長は市内で今年新百歳になられた下里キヨ（しもぎと きよ）さん、喜友名喜代（きよな きよ）さんのご自宅を訪問し、石垣市からの頌状と記念品、内閣総理大臣から祝状と銀杯、沖縄県知事から祝状を贈呈し、ご長寿のお祝いを行いました。

今年度市内で新百歳になられた方は、男性1名女性6名の7名です。



生まれてくる赤ちゃんのために 「風しんワクチン」

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど、赤ちゃんがそのような生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しんの予防接種を受けることをご検討ください。

女性は妊娠前に

▼
風しんの予防接種を
ご検討ください

接種後2ヵ月は避妊が必要です
接種回数は
子どもの頃の接種を含めて2回です

成人男性は

▼
風しんにかかったことがない方
風しんワクチンを受けていない方
どちらも不明な方

▼
接種することを
ご検討ください

2回接種しても問題はありません

妊娠中の女性の家族は

▼
風しんの予防接種を
ご検討ください

妊婦は風しんの予防接種を受けられません
1歳児（第1期）と、小学校入学前1年間
（第2期）は麻しん風しん混合ワクチンの
定期接種を受けましょう

今は成人に多い病気で、特に10代後半～50代前半の男性、10代後半から30代前半の女性が多く発病しています

特に昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした

風しんの予防接種は、はしか（麻しん）も一緒に予防できる麻しん風しん混合（MR）ワクチンでうけることをお奨めします

お問い合わせ先： 八重山保健所 82-3240